



潮風おのみち  
(※現在は無所属)  
まきはた しんいち  
巻幡 伸一



## 市長の政治姿勢

**議員** 地場中小零細企業や地域商店街の振興、スタートアップの促進で納税者数の増加を目標に、物価高騰、行財政運営、少子化対策などの諸課題に、スピーディに計画を策定していく必要がある。

**市長** 少子高齢化や人口減少は、取り組むべき課題である。新年度予算では、出産・子育て応援、教育環境の充実に予算配分している。

**議員** 企業として外国人研修生も創造する日本の人材として、生かせる職場づくりに傾注させる必要があるのではないかと。

**市長** 人手不足が深刻化するなか、外国人材の存在は重要である。住みやすく、働きやすい環境の整備に向け、支援を検討してまいります。

## 南海トラフ地震について

**議員** 南海トラフ地震発生を想定した備えについて伺う。

**市長** 防災拠点となる本庁舎と支所を建設し、防災ラジオや防災アプリ、学校施設等の整備も進めてきた。発生した際に、各職員が取る行動をまとめた初動手順書の作成に取り組み、地域防災力を強化するため、自主防災組織を通じた防災訓練などの支援に努める。

## 消防行政

**議員** 多様化、複雑化する災害への対応力を確保するための人員や資機材の充実、高度救助隊、救急救命士の再教育、職員の養成などの整備計画の進捗はどうか。

**市長** 大規模な自然災害に対応するため、人材育成や施設及び装備は計画的に取り組んでいる。

消防業務の高度化に対応するため、広島県消防学校や消防庁消防大学校に職員を派遣し、また救急隊員や救急救命士を養成している。



市民連合  
やまね もとつぐ  
山根 基嗣



## 国の新年度予算について

**議員** 防衛費は2027年度までに総額43兆円もの膨大な予算が計画されている。一方子育て支援には、特例公債を発行するとして負担の先送りを招く。安全・安心な市民生活に向け、予算の組み換えが必要ではないかと。

**市長** 財源や負担のあり方、防衛費については、国会の予算審議で十分に議論が尽くされるべきである。

## 子育て支援・女性の転出について

**議員** 尾道市内で女性の正規雇用の増加や住環境など安心して子育てができる対策が必要ではないかと。

**市長** 尾道市内で女性の正規雇用は5年前と比べて0.5ポイント上昇している。尾道で暮らすことに幸せ感を感じてもらえるよう取り組む。

## 新年度における農業政策について

**議員** 有害鳥獣被害対策（イノシシ・サルなど）への取りくみと農業振興への予算増額が必要ではないかと。

**市長** 県と連携し、「中間支援組織」を設立し、被害低減に努める。農業振興費の予算では、農業の担い手や農地の利活用促進、食の安全・安心などの推進に適切な事業費計上を行っている。

## 教育について

**議員** 「教育環境整備」「インクルーシブ教育」「英語教育」「教職員の働き方改革」など多くの課題がある。取組について伺いたい。

**教育長** 教育環境整備は学校やPTAの要望に対応していく。障がいのある子もいない子も同じ場所で共に学ぶ「インクルーシブ教育」をめざす。

「英語教育」は学校生活で英語を使用する機会を増やし、外国語指導助手が英語以外の授業に参加し、英語を通して教職員が子ども達と触れ合う時間を確保できるよう取り組む。



木曜会  
おおもと かずひで  
大本 和英



## 消防関係の防災・減災対策

**議員** 消防団と常備消防の役割分担や合同訓練並びに教育訓練について伺う。

**市長** 利用状況に応じた割引のほか、尾道市や文化協会の主催、共催、後援などの場合は使用料の減免をしており、こうした制度を積極的にご利用いただきたいと考えている。

## 英語教育

**議員** 英語教育の基本的な考え方と今後の方針は。

**教育長** 英語によるコミュニケーション能力は生涯にわたる様々な場面で必要となっている。本市においても、増加する在留外国人や外国人観光客とコミュニケーションを図るため、児童生徒が毎日英語に触れ、活用できる場を各学校がアイデアを出し、日常生活において英語でやり取りができることを目指した取組を進めてい



新誠会  
ふじもと ともゆき  
藤本 友行



## — 失われた30年からの学び — 「市民の耐震化」について

**議員** 令和6年は尾道市において何の記念すべき年か。

**市長** 向島町、御調町合併20年の年。

**議員** 尾道市の出生数が500人を切る記念の年ではないのか。

**市長** 500人を切らない努力をする。

## 尾道市の「家族のカタチ」の推移

国勢調査

	昭和の時代	平成の時代	令和の時代
1人世帯	10%	25%	40%
2人世帯	25%	30%	35%
3人以上世帯	65%	45%	25%
子どものいる世帯	45%	25%	10%

く。

## スポーツを活かしたまちづくり

**議員** スポーツ大会、スポーツ合宿の誘致など、びんご運動公園等のスポーツ施設を活用した取組を進めていく考えはあるか。

**市長** びんご運動公園では現在、球戯場の人工芝工事が進められているほか、スケートボード場等アーバンスポーツ施設や宿泊施設などの整備が予定されている。これらの整備により、新たなイベントの開催が可能となるほか、市内のスポーツ施設と連携することで、大規模スポーツ大会やスポーツ合宿の受入が進むものと考えている。

**議員** 御調町で新たにスポーツ施設整備を進めてはどうか。

**市長** 御調町にはソフトボール球場に加え、さまざまなスポーツを楽しめる環境が整っている。今後、多目的グラウンドを含めた周辺部の活用方法等を研究し、さらなる魅力向上に努める。

## 「教育の耐震化」について

**議員** 教育環境がブラック化している中で、生徒はどうしたらよいのか。

**教育長** 「尾道で学んでよかった」と思える教育を目指す。

**議員** 大竹市、三原市、安芸高田市、海田町がしている給食無償化を、尾道市はいつからするのか。

**教育長** 慎重に検討している。

## 社会全体で「子ども」を育てる比較表

	尾道市	三原市	福山市	東広島市	廿日市市
公民館等運営 市民支援員	1人 (一部2~3人)	2人	3人	3人	5人
一世帯当たりの 町内会補助金	490円	1,155円	685円	1,900円	1,060円
地域担当職員	なし (一部あり)	あり (一部なし)	あり	あり	あり
令和4年転出超過 ランキング	1706位	1681位	1680位	42位	211位
2050年の 人口減少率	33%	38%	17%	9%	18%
おでかけ支援事業	1,270円/人	641円/人	169円/人	136円/人	なし



公明党  
ふくはら けんじ  
福原 謙二



## 住宅耐震化の促進

**議員** 能登半島地震は耐震基準を満たさない古い木造家屋に被害が多く出た。市は木造住宅の耐震化をどのように考えているのか。また、避難所運営に関して、要介護高齢者や障害者など要配慮者への災害時の福祉避難所の指定状況を伺う。また、避難所における女性スタッフの配置や女性相談は整備されているのか。

**市長** 耐震化率向上のため、木造住宅耐震診断費補助事業、木造住宅耐震改修費補助事業など各種補助制度による支援を行っている。補助制度の周知を充実させていく。福祉避難所では市内で28施設を福祉避難所として指定。また、女性への配慮、女性専用スペースの確保など配慮に取り組んでいる。

## 5歳児健診

**議員** 安心して子どもを産み育てられる環境

について、発達障がいなどを早く発見し、小学校への就学後に、環境に適応できず、不登校になったりすることがないように5歳児健診によって、特性に気づき、適切な支援や療育につなげる5歳児健診の実施についての考えを伺う。

**市長** 本市の5歳児相談事業は希望により相談を受付。5歳児検診は、集団検診による対象児すべてに対して実施。市の事業とは大きく違う。5歳児検診は取り組み内容など教育委員会、医師会、療育機関など関係機関と協議し保護者と対象者にとって良い手法を探っていく。

## 外国人人材の支援

**議員** 外国人技能実習生は、市の中小企業活性化の一翼を担っている。技能実習生の日本語習得、日本の生活習慣等への支援を企業と一緒に取組んでいるか。また、瀬戸内の十字路としての拠点制を生かし新たな工業団地整備と企業誘致による雇用の拡大への取り組みを伺う。

**市長** 外国人人材が市内企業で活躍するため支援の在り方を検討していく。産業団地は県、民間事業者との連携を軸に検討を進め産業振興に努める。



平成会  
にのみや ひとし  
二宮 仁



## 持続可能な町内会への支援策は

**議員** 町内会に入会しない人も増え、加入率が低下している。不動産関係の業界関係者と町内会入会促進について連携してはどうか。また、町内会貢献者を表彰してはどうか。全国では電子回覧システムを導入する町内会も増えている。講習会など本市の支援策はあるか。

**市長** 不動産協会との連携はない。町内会が行う情報発信については支援していく。現在の制度で町内会長の表彰は可能であり、新たな表彰制度は設ける予定はない。防災アプリと防災ラジオには各町内会等から地域内に配信する機能があり、操作方法に関する講習会などの要望があれば対応する。LINE等はスマホ教室を開催しており、町内会等の連絡網づくりに役立てて欲しい。

## 空き地・空き家対策

**議員** 空き地、空き家は所有者が管理すべきもので、市は私有財産に手を付けにくい。適切に管理してもらうため、市はどんな啓発を行い、特定空家等に認定した後の措置と成果はどうなっているか。

**市長** 令和4年度までに認定した81件の特定空家等に対して措置法に基づく指導等を延べ158件、勧告書1件を送付している。全体で認定の46件が解体された。空き家、空き地の発生、予防については、相続登記の義務化など令和3年4月に総合的な民事基本法の見直しがあった。不動産の相続について日頃から家族で話し合っておくことの大切さなどを市民に周知したい。

## 子どもの居場所として遊具の活用は

**議員** 1億円の寄附をきっかけに大型遊具の整備が進んだが、整備と活用は。

**市長** 昨年度と今年度で合計8か所の公園に大型遊具を設置することとしている。既に設置した公園ではたくさん利用していただいております。更新などは利用状況を考慮しながら考える。





青嵐会  
みやち ひろゆき  
宮地 寛行



## 制服を税金で買い与えるのは税金の無駄遣いではないか？

**議員** 制服は子どもが入学する際に、本来、親がお金を出して購入するものだと思う。統合する尾道みなと小学校、及び中学校は税金で制服を購入する予算が上がっている。私は、特に小学6年生や中学3年生の生徒は残り一年間しか着ることのない制服を税金で購入するのはもったいないと思っている。今まで着てきた制服を残りの1年間大切に使う方が子ども達にとっては良いのではないか？もったいないとは思わないか？また、たった一年間しか着ない制服を小学6年生や中学3年生の生徒に税金で支給するのは、納税する尾道市民の視点から見れば税金の無駄遣いではないか？

**教育長** このたびの学校統合についても、保護者との協議の中で「統合校の一体感を醸成するためにも、制服等を揃えた方がよい」とい

う意見が多く出された。その一方で「制服・体操服を一齐に切り替える場合、現在の制服がもったいない」という意見も出た。最終的に開校準備委員会で検討した結果、保護者の要望を尊重し、一齐に切り替えるという結論に至った。

総体質問を終えて…

当事者である皆さんへ。現在の長江中、久保中の1年生はたった1年間しか着ない母校の制服が無駄になります。どうか「もったいない」という気持ちを大切にしてください。



日本共産党  
おかの なごし  
岡野 長寿



## しまなみ海道は生活道路、公共交通の課題として正面から向き合え

**議員** 福祉施策として、小児救急の際の「橋代」助成が新規事業として提案されているが、高齢者や障がい者が通院するときには補助がない。福祉施策としても極めて限定されている。もっと広げるべき。また、橋代は市民の一般通行の問題。正面から向き合い、観光客とは違う生活道路としての地元住民補助制度をつくるべき。100円でも、200円でも軽減を。

**市長** 他の交通機関への影響や支援の在り方を考慮しながら必要な取組を検討する。

**議員** ①通勤割引を朝夕から24時間に拡大、②登録IC間の50%割引の新たな社会実験を国土交通省が始める。尾道市も社会実験に参加できるよう緊急の申し入れを。

**市長** 検討する。

## 学校給食無償化を

**議員** 三原市が第2子からの給食無償化を実施する。尾道市もやるべきでは。

**教育長** 多額な予算が必要なので少子化対策の中で優先順位を考える。

## 介護保険料のため込み金(基金)16億円を取り崩して、保険料軽減を

**議員** 三原市は10億円基金を取り崩して介護保険料を引き下げる。尾道市ではいくら引き下げるか。

**市長** 基金の取り崩しにより、据え置き(同額の保険料)となる見込み。

## 給食費の徴収方法の改善(公会計に)

**議員** 教師の負担軽減、いじめ問題を誘発する給食費の徴収方法を改善すべきではないか。

**教育長** 令和7年度は、給食費を学校ではなく、市が直接徴収する公会計制度とし、教職員の負担軽減を図る。